

「アフガニスタンに関するロンドン会合」における
高橋博史駐アフガニスタン大使ステートメント

アブドゥラー行政長官
ハモンド英国外務・英連邦大臣
ご列席の皆様

日本政府を代表して、今次会合を共催したアフガニスタン及び英国両国政府の多大なご尽力に感謝申し上げます。

まず、先日のカブールでの英国大使館車両を標的とした自爆テロを含め、アフガニスタンでのテロで犠牲となった方々に心から哀悼の意を表します。アフガニスタンでのテロ事件は、不安定な治安情勢が、アフガニスタン国民及び国際社会に大きな犠牲をもたらすことを想起させます。テロはいかなる理由においても正当化できず、我が国は、このような卑劣なテロ行為に屈することなく、アフガニスタンの安定化に向けたアフガニスタン政府及び同国民の取組の支援を続けることを再確認します。

ご列席の皆様

ガーニ大統領及びアブドゥラー行政長官が就任し、アフガニスタン史上初の民主的な政権移行を果たしたことに祝意を表します。アフガニスタンの安定及び治安の改善のためにも、迅速に閣僚が指名・承認されることを期待します。

アフガニスタンは、数十年にわたる政治的・経済的混乱を乗り越え、自立に向け大きな一歩を踏み出しました。過去13年間、アフガニスタンの経済・社会・人権分野で大きな進展が見られました。その成果を土台にし、本年末には、国際治安支援部隊（ISAF）から「確固たる支援」任務（RSM）への移行が行われます。新しいアフガニスタン政府は、

自国民に対してより大きな責任を担うこととなります。そして、アフガニスタンの安定と治安の回復という観点からは、反政府武装勢力との和解がますます重要になってきます。

ご列席の皆様

2012年7月に日本は、東京会合をホストし、そこでアフガニスタンの自立に向け「東京相互責任枠組み（TMAF）」の構築に強いリーダーシップをとりました。過去2年間、アフガニスタン及び国際社会は、TMAFに示された相互責任コミットメントのフォローアップに取り組んできました。しかし、アフガニスタン政府の改革に向けての取組は未だ十分な成果を出しているとは言えません。一日も早く新政権を本格的に始動させ、強いリーダーシップで改革を進めることが重要です。

このような観点から、アフガニスタン新政権が作成した「自立の実現に向けて」と題する文書に、抜本的改革への主体的な取組が盛り込まれたことを評価します。新政権のリーダーシップの下、アフガニスタンの改革努力に成果があれば、日本も国際社会の一員としてTMAFに従い支援していく所存です。

新政権の改革への取組の中でも、特に汚職対策が重要です。汚職・腐敗の蔓延が政府への信頼を低下させ、自立的開発の障害となっています。新政権が、汚職撤廃と自立的開発を進め、これを通じて国民の信頼を獲得し、和解を進展させることを期待します。さらに、アフガニスタン政府が、その経済や財政を持続可能性のあるものに変革させるとともに、アフガニスタンの女性・子供をとりまく状況改善に向けて、さらなる努力を行うことを期待しています。

ご列席の皆様、

日本は、2001年以降、累計約54億ドルのアフガニスタン支援を行ってきました。2012年東京会合で日本が表明した概ね5年間で最大約30億ドル規模の支援コミットメントのうち、すでに21億ドル以上の支援を実施しています。

日本は、農業・農村、インフラ、人材の開発において、アフガニスタンの努力を支援しています。雇用創出能力が最も高い産業は農業であり、農業セクターの復興・発展は、貧困削減と自立的経済の確立に貢献するものです。先月日本が決定した、FAOが実施する1900万ドル規模の口蹄疫対策プログラムへの支援は、アフガニスタンの農業振興のみならず地域協力の発展にも資するものです。

また、国際社会の関与の前提条件となる治安維持も日本は重視しています。これまで、UNDP法秩序信託基金（LOTF A）に警察官給与を中心とした支援を行う等、治安維持能力の向上に貢献しています。

最後に、アフガニスタンの自立的な発展と新政権の改革の取組を支える（support）ことは、日本が推し進める国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の実践です。アフガニスタン自身の努力と国際社会からの支援を通じ、アフガニスタンとその周辺諸国が共に繁栄し、「変革の10年」において成功を収められるよう、日本として協力を惜しまないことを改めて申し上げます。

ご静聴ありがとうございます。

（了）